

令和2年度 第2回社会教育委員会議 会議録

議決日 令和2年11月2日(月)

備考 書面会議

- 出席委員／ 荒川、徳丸、佐藤(一)、山野、佐藤(由)、前川、佐藤(則)、松崎、上野、岡村、
太田、永井、新井、杉山 各委員
- 欠席委員／ 須賀 委員
- 議事参与者／ 松本教育長、渡部教育部長、加納館長(中央公民館)、岡本館長(東公民館)、
荒川館長(西公民館)、野田館長(南公民館)、桑島館長(北町公民館)、
小川館長(下蔵公民館)、佐藤館長(図書館)、佐藤館長(歴史民俗資料館)、
黒澤館長(旭町公民館・指定管理者)
- 事務局／ 松永生涯学習スポーツ課長、池澤生涯学習スポーツ課スポーツ推進係長、
岩下生涯学習スポーツ課青少年係長、竹田生涯学習スポーツ課生涯学習振興係長、
深津生涯学習スポーツ課主事、島袋生涯学習スポーツ課主事

1 前回会議録の承認

承認された。

2 議 事

・報 告

(1) 生涯学習関連行事等について

【資料1】

上記のことについて、事務局から報告があった。

質疑なし。

(2) 第37回けやき文化賞について

【資料2】

上記のことについて、事務局から報告があった。

質疑なし。

(3) 第6回(令和2年度)蕨市民音楽祭について

【資料3】

上記のことについて、事務局から報告があった。

質疑なし。

(4) アーティスト動画配信プロジェクト in Warabi について

【資料4】

上記のことについて、事務局から報告があった。

委員： 募集についてはチラシ等を公民館等で見かけたのでよく告知されていたよう

に思うが、放映についての告知は弱い気がする。今後、続けていく、あるいは続けたいイベントについては必ずアンケートなどを取って是非見直し点等を含む反省会を開くようにした方が良いと思う。放映の告知については、出演者にも告知の協力をしてもらおう。配布してもらおうチラシをただ手渡すのではなく出演者全体の意見交換などを行い、ムードを盛り上げたうえでよく理解をしていただき、告知のご協力を得ることも主催者側の仕事だと思う。また、イベント終了後もアンケートの結果を出演者及び関係者にも知らせることが必要だと思う。また、周知の方法について、Facebook や Twitter や Instagram も取り入れるのは現代の若者にとって今や必須である。

・協 議

(1) 社会教育関係団体の認定について

【資料5】

1 件の認定申請があり、事務局から説明があった。

～承認された

委 員： 連盟からの申請となっているが、会費は会員一人一人から集めているのか、団体ごとに集めているのか。また、連盟の役員が所属する単位会が記載されていないので、役員の構成が分からない。

事務局： 会費は団体ごとに集金、役員の構成については各単位会から1名以上選出されていることを団体に確認した。

5 その他

委 員： 先日、公民館に行き、偶然音楽情報紙を発見した。内容を見たら一覧になっていて便利だと思った。もう少し詳しく知りたいと思い「蕨市、音楽情報紙」で検索したところ、確かにアップされていたが、情報紙と何ら変わらず、知りたい情報を得られなかった。ウェブ情報はいくらでも情報を広げられるメリットがある。出演者のホームページをリンクさせるだけでも内容が分かる。また、ホームページのないところには情報の取材などひと手間かけることも必要かと思う。また、紙面には検索ワードを記載してもらえるとありがたい。また、各公民館の「公民館だより」を見て、告知内容を公民館利用者以外はほとんど見ておらず、必要な人に届いていないということを感じた。それぞれの公民館が工夫を凝らして主催している講座がある。申し込みに関してはその住民とその他地区の住民に分けて優先順位をつけてもいいが、もう少し広く告知した方が良いと思う。

これを踏まえて、イベントは独立してホームページを作った方が良いと思う。市のホームページは必要なことがあって調べるものだが、イベントは「何か面白いことはないかな」と思って検索する。目的が違うことを一緒のページ

にアップすることはあまり得策ではない。もっと楽しい絵柄の、ワクワクするようなホームページの作り方が大事だと思う。「蕨って、こんなこともやっているのか！」とか「市民活動が意外と盛んだな！」とか「自分も仲間に加わりたいな！」など思っただけのように多くの市民に知らせることも必要だと思う。おのおの、市民活動のホームページのリンクもあると多くの情報が得られて楽しくなると思う。

委員： コロナ禍のなかで、公民館や集いの運営には困難が伴う。他方、困難に向き合い互いに支援する活動は一層重要な意味を持つ。そうした経験をエピソードとして記録し、発信することを通じて、前向きに生きること、地域のあり方を考えることを大事にしたい。オンラインが苦手な高齢者の支援も課題となると思う。

委員： 書面議決に関して、是非電磁化（FAXを含む）と紙面上の両者を取り入れてほしい。